

コラム 伝統的な商品を防災の視点で見直し、新しい価値を与える

取組主体	想定災害	実施地域
ナチュラルプラス/協同組合オリセン/有限会社クワン/株式会社こけしのしまぬき	地震等	全国

全国で、災害対応の観点から伝統工芸品を改良した商品が開発されており、新たなニーズが開拓されている。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

小売事業者と晒メーカーが協力して「防災晒」を開発【ナチュラルプラス】

- 大阪府堺市で雑貨小売を行うナチュラルプラスの代表は、平成 29 年に地元の伝統産業で染め上げた手ぬぐいの展示会に参加した。堺市は日本独自の製法で木綿を加工する和晒の製造が発展したまちであるが、近年その需要は低迷傾向にある。同代表は、和晒の展覧会で地元の晒業者との出会いをきっかけに、和晒の新商品開発プロジェクトを立ち上げた。和晒の特徴は、長期間保存しても変質しない、かさばらない、ほつれにくく強度が強い、長さが 10m 程度あり表面積も大きいということである。同プロジェクトメンバーは、ウェブ等で調査を進める中で、災害現場や避難生活の中で和晒を活かすことを思い付き、東日本大震災の被災者の意見を聞き、災害現場での有用性を確信した。
- この「防災晒」の構想が堺市の消防局に受け入れられ、同局より使用方法の監修を受け、怪我人の救護や救出するための方法の検証や、強度のテストを実施した。その他にも避難生活での活用法の実験を踏まえ、30 通りの使用法をまとめた。
- 防災晒自体に目盛りがプリントされており、そのままメジャーとして使用できるほか、製品にはハサミや使用方法の説明書及び DVD が同封されている。事前に使用方法を学ぶことで、被災者が有事の際に迅速に防災晒が活用できるよう工夫した。



防災晒を包帯代わりにする様子

織物・染色職人の組合が手拭いを継承するため、減災をテーマに日本語・英語で新商品を開発【協同組合オリセン】

- 織物・染色のプロの職人が参加する協同組合オリセンでは、古来から必需品であった手拭いを継承していくことを目的とし、幅広い人に携帯してもらえるよう、減災と手拭いを掛け合わせた商品を開発した。同製品は子ども用と一般用があり、前者は地震発生時に子どもが適切に行動できるように、また後者は災害への備えを、家族全体で話し合うきっかけとなるように、関西大学の河田教授の指導のもとに分かりやすくイラストで説明がなされている。訪日外国人の役に立ちたいという思いから英語版も作成し、また子ども向けには減災手拭いバッグも開発した。同協同組合は、使用者のニーズに応じた新製品の開発を検討していく。



減災手拭い（英語版）

問合せ先

ナチュラルプラス 法人番号：— TEL 072-272-7281 FAX - E-Mail info@natural-plus.jp  
 協同組合オリセン 法人番号：— TEL 06-6261-0468 FAX 06-6261-2685 E-Mail info@osaka-orisen.com

### デザイン会社が防災意識啓発のための手拭いを考案【有限会社クワン】

- グラフィックデザイン等を手掛ける有限会社クワンでは、平成 17 年に民放局から依頼を受けて防災ハンドブックを制作した。同社はその際に「大切な情報が記載されているにも関わらず、冊子では本棚に仕舞われてしまい、いざというときに活用されないのではないか」という懸念を抱いた。同社は「大人から子どもまで持ち歩ける防災商品」をコンセプトにした「防災拭い」を開発した。手拭いはタオルほどかさばらず、乾きやすいため普段から持ち歩くのに便利であり、ロープや包帯、マスクの代わりになる。「防災拭い」には、被災時の注意点や備えておくべき防災グッズをイラストで記載しており、子どもたちにも親しみやすいデザインになっている。開発から 1 年後には防災の専門家に監修を依頼し、記載内容をより実用性の高いものへリニューアルした。同社は、自治体や企業のキャラクターを使用したバージョンも積極的に提案し、より多くの人に親しまれるよう工夫をしている。



非常食等の防災用品がイラストで提示された手拭い

### 伝統工芸品店がこけしと懐中電灯を融合【株式会社こけしのしまぬき】

- 古くから伝統こけしの産地である宮城県では、株式会社こけしのしまぬきが昭和 20 年代から伝統こけしの販売を行っている。同社は、平成 20 年の岩手・宮城内陸地震の際に顧客から「地震のたびにこけしが倒れて嫌だ」という声をたびたび聞いた。そこで、同社は頭が大きく倒れやすいという伝統こけしの特徴を活かし、倒れたら底が光るこけしを開発した。同製品は震度 4 程度の揺れで転倒する。こけしが、傾いたら内部のセンサーが反応して LED ライトが点灯する仕組みである。普段は部屋の飾りとして置いておき、有事の際には懐中電灯として避難に役立てることができる。近年、伝統こけしは日本文化独特のデザイン雑貨として海外からも注目を集めている。同社は、この光るこけしを始めとした伝統工芸品を通じて、地元の文化を伝え続けていくことを目指している。



傾いたことで底部のライトが点灯したこけし

問合せ先

有限会社クワン 法人番号:6400002004432  
TEL - FAX - E-Mail head@cuwan.com URL:www.bousainugui.com  
株式会社こけしのしまぬき 法人番号:2370001008020  
TEL 022-223-2370 FAX 022-223-2373 E-Mail mingei@shimanuki.co.jp